

	検査項目	検査対象	基準値	検査結果に関連する病気・症状
身体測定	腹囲	おへその高さのお腹まわりを測定する	男性：85cm未満 女性：90cm未満	肥満・・・高血糖、高血圧、高尿酸血症（痛風）、脂質異常等 やせ・・・低栄養、甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍、疲労感等
	BMI	身長と体重で肥満度を計算する *計算法：体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）	18.5以上～25未満	
血圧測定	血圧測定	朝：起床後1時間以内、晩：就寝前にそれぞれ2回測定し、平均値を出す	（正常域血圧） 収縮期：140mmHg未満 拡張期：90mmHg未満	高値：高血圧症（脳卒中や心臓病、腎臓病の原因になる）、動脈硬化症等 *至適血圧・・・収縮期120未満かつ拡張期80未満 *正常血圧・・・収縮期120～129かつ/または拡張期80～84 *正常高値血圧・・・収縮期130～139かつ/または拡張期85～89 *高血圧・・・収縮期140以上かつ/または拡張期90以上
聴力・眼科検査	聴力検査	音が聞こえにくくなっていないかを調べる。30 d B以下が聞き取れば正常	低周波数（1000Hz） 高周波数（4000Hz）	難聴（騒音性・先天性・突発性）、中耳炎等
	視力検査	5m先のがどれだけ見えるかを測定する	1.0以上	近視、乱視、白内障、緑内障等
	眼底検査	眼球の内側をおおう網膜を観察する	異常なし	加齢黄斑変性、糖尿病性網膜症、緑内障、動脈硬化等
	眼圧検査	眼球の圧力を測定する	10～20mmHg	高値：緑内障など 低値：網膜剝離、外傷等 ※眼圧は正常だが視野狭窄が起こる正常眼圧緑内障も多い
心臓検査	心臓が血液を送り出すときに発する電気を読みとり、波形として記録する	心電図：異常なし 心拍数：50～85回	不整脈、狭心症、心筋梗塞、心肥大等	
消化器検査	上部消化管X線検査	造影剤のバリウム液を飲み、食道から胃、十二指腸までをX線写真で映し出す	異常陰影なし	食道・胃・十二指腸の潰瘍、がん、ポリープ等
	上部消化管内視鏡検査	経口または経鼻から内視鏡を挿入し、食道や胃、十二指腸を観察する	異常なし	食道・胃・十二指腸の炎症、がん、ポリープ等
	ペプシノゲン検査	血液中のペプシノゲン量を測り、胃粘膜の萎縮、胃液の分泌、胃粘膜の炎症を調べる	陰性（－）	胃・十二指腸の潰瘍、胃がん、萎縮性胃炎等
	ヘリコバクター・ピロリ検査	血液検査・尿検査・便検査・呼気検査等でピロリ菌の感染の有無を調べる	異常なし	胃・十二指腸の潰瘍、胃がん等
	下部消化管内視鏡検査	肛門から内視鏡を挿入し大腸の粘膜を観察する。組織採取やポリープ切除もある	異常なし	大腸ポリープ、大腸がん、潰瘍性大腸炎、大腸狭窄、クローン病等
便潜血	採取した便に試薬を混ぜ、その変化で血液が含まれていないかを調べる	陰性（－）	大腸ポリープ、大腸がん、潰瘍性大腸炎、痔、胃・十二指腸の潰瘍等	
呼吸器検査	胸部X線検査	胸部にX線をあて、肺や心臓の病気、骨折や炎症、腫瘍等を調べる	異常陰影なし	呼吸器に異常・・・肺結核、肺炎、肺がん、肺線維症、肺気腫等 循環器に異常・・・心肥大、心不全、大動脈硬化症等
	呼吸（肺）機能検査	スパイメトリーという機械に思いきり息を吹き込み、肺活量を測定する	%肺活量：80%以上 1秒率：70%以上	%肺活量低下・・・肺結核、間質性肺炎、肺線維症、咳、痰、息切れ等 1秒率低下・・・慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、咳、痰、息切れ等
	喀痰検査	痰を採取し、調べる	異常なし	肺がん等